

地域・防災だより

第58号 2022年9月

天嶽院下自治会・自主防災会
(作成協力)防災協カグループ

風水害(集中豪雨、台風等)に備えましょう！

過去の記録を上回る大規模な風水害が発生しています。そこで次の3つの備えが大切です。①自分が居る地域の洪水や土砂災害の「ハザードマップ」で危険度リスクを知っておく。②TV、ラジオ、スマホ携帯等で災害情報を得る手段を確保しておく。③指定避難所や水害避難所までの避難ルートを確認する等、身の安全を図る方法を確認しておく。また風水害が発生した際の行動を事前に「自分の行動計画(マイタイムライン)」として作成しておくことも重要です。



夏休み両公園のラジオ体操実施状況

御幣下公園で例年7・8月下旬実施している「夏休みラジオ体操会」は、今年も子ども会が参加できず、普段の静かなラジオ体操会となりました。一方、赤坂公園では7月末の一週間、今年もプラウドマンション自治会主催の「夏休みラジオ体操会」(写真)が親子参加で実施され、公園周辺の大人・子供たちも参加しました。

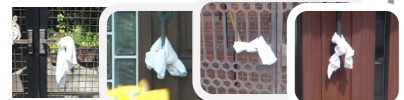


自治会、今年の「防災フェスタ」を開催(7月23日・土)

早朝の安否確認訓練(8～9時 タオル掛け)は各家庭で、その後の防災訓練(10～12時)は御幣下公園で行われました。

安否確認訓練の結果は、参加247世帯(全世帯:534)で安否確認率は46.3%となり、自主防災としては過去1番目の高さでした。

防災訓練は御幣下公園で実施、①起震車による震度体験、②水消火器訓練、③AED応急処置訓練、④ロープワーク訓練、が夫々行なわれ、参加した自治会役員はじめ一般会員は、家族と共に熱心に各訓練を体験していました。また同公園の防災倉庫では、防災器具・物品の点検も行なわれました。今年は夏休み中の多くの小・中校生が参加、各訓練にも積極的に参加して会場を盛り上げていました。



防災キャンペーン(家庭備蓄) 藤沢も含まれる南海トラフ巨大地震対策では、事前防災を重視し家庭での備蓄を1週間以上と呼び掛けています。従来3日分以上と言われてきましたが、指定避難所の藤ヶ岡中学校は、藤沢市が一定の備蓄を備え、かつ自治会(自主防災会)も若干の防災機材と、水や非常食の備蓄を行っていますが、充分ではありません。この為各家庭での食料・水、カセットコンロ、簡易トイレ、乾電池などの備蓄を最低でも1週間分確保して頂きたいのです。大災害時は公的支援が遅れる為、まずは「自助」が大原則であり、その上で「共助」「公助」になるのが過去の大災害からの教訓です。